

凡例

- 原則として、改行・改ページなどの体裁は原本どおりとし、その他の文字の位置も、可能な限り原本そのままの位置に表記する。
- 原則として、漢字は常用漢字を使用する。ただし、固有名詞は、原本にある字体をそのまま使用する場合もある。
- 変体仮名は通常の仮名に直す。ただし「ニ」「与」「江」「茂」「者」「而」「社（こそ）」などの助詞はそのまま表示する。「并」もそのままとする。
- 朱書きや傍注、加筆、抹消は、原本そのままの位置に翻刻した上で、該当二文字（修正対象）に朱色の傍線を付したうえ、右脇に朱書きで加筆文字を入力する。
- 挿入の場合は、挿入箇所に朱色の「・（中黒）」を入力し、右側に朱書きで「→挿入文字」を加筆する。
- 欄外上部の朱書数行については、当該位置に朱書でそのまま入力し、『「○」の位置に挿入すべきものとして上部欄外に加筆あり』のように記載する。
- 朱書きなど色付きの表記は、その同じ色で翻刻する。
- 史料の汚れ・欠失等により判読不能の部分、および難読文字は□□□や〔 〕と表記する。
- 誤字・脱字・当字・衍字はそのまま表記し、当該文字の下に（ ）で注を付す。
- 翻刻者により、適宜句読点・並列点等を付す。また、推測や注記がある場合は（ ）内に表記する。